

Title Page

こんにちは。私はジリアン・太田と申します。私はカルメン・アルメンダリスと申します。今日は、日系アメリカ人のアイデンティティーに関する日米の大学の見解について発表したいと思います。

Outline

これが概要です。

Significance of the Study

なぜ私たちがこの研究をしたかというところ、私達2人とも日系アメリカ人だからです。また、私たちが日本に留学していた時、日本の大学生の日系アメリカ人に対する意識の低さに驚きました。そこで日系アメリカ人のアイデンティティーについて日本の大学生とアメリカの大学生がどのような見解を持っているのか、また彼らの見解はどのように形成されているのかについて理解したいと思ったからです。

Research Questions

これが私達の研究質問です。1、日米の大学生は、日系アメリカ人のアイデンティティーについてどのような見解を持っているのか、2、日米の大学生の日系アメリカ人のイメージ形成にはどのような要因が影響されているのか。の以上です

Research Background

これが研究背景の概要です。

Definition of Relevant Terms

まず始めに、日系アメリカ人に関する定義についてお話します。日系アメリカ人は日本以外の国に移住し当該国の国籍という人で一世、二世、新一世に分けられます。一世とは第二次世界大戦の前にアメリカに移民した日本人のことをいいます。新一世は第二次世界大戦後、アメリカに移民した日本人のことをいいます。二世は一世の子供たちのことをさしています。

Numbers of Japanese Migrants into the U.S.

この表は第二次世界大戦前から大戦後のアメリカに移民した日本人の統計を示した物です。このグラフからも分かるように大戦前と大戦中に一世の移民は急激に衰退しています。しかし、大戦後に新一世の移民の数はほぼ一定しています。

New Japanese-American Migrants (USA)

これは日本の国勢調査ですがこの図からもわかるように、日本人移民者は2000年から急激に増えています。

Generational Differences

一世、二世、新一世は、世代により経験に違いがあります。例えば、一世は収容所に収監された経験を持っていますが、新一世はその経験はありません。また、二世、三世ははアメリカの文化に精通していますが新1世、2世、3世はアメリカと日本の文化の両方をよく理解しています。労働に関しても1世が肉体労働的な仕事をしていたのとはことなり、新一世は事務系の仕事をつくことが多いです。

Assimilation (USA)

次に、アメリカ社会への同化について話します。第二次世界大戦後、日系アメリカの主流社会に同化することを重視し、学問に力をいれました。そのため日系アメリカ人の一世は大半、高校や大学を卒業しています。（また1967年までに異種族混交は違法でしたが）白人アメリカ人と結婚し子供を生むことも大事なことでした。

Assimilation (USA)

更に、日系アメリカ人は同化が進むにつれ学業成績は高いとはいえませんが修士、博士等の学位を持つ人が増えています。

Stereotypes and Discrimination (USA)

それでは、次のアメリカに日系アメリカ人に関する既成概念と差別について話します。第二次世界大戦後、日系アメリカ人は学問的な業績と財政的成功があったためアジア系アメリカ人は理想的なマイノリティで、勤勉、静か、利口等理想的な生徒のイメージがあります。

Stereotypes and Discrimination (USA)

そのため、学問に関する非現実的な期待が持たれましたがその期待のそえない日系アメリカ人へのサポートはありませんでした。キャリアの面でもある程度まで昇進するとそれ以上の昇進はできませんでした。

Stereotypes and Discrimination (USA)

日系アメリカ人について忘れてはいけない歴史について触れたいとおもいます。第二次世界対戦が勃発し、1942年にルーズベルト大統領がアメリカ行政命令を出し、120万人の日系アメリカ人が強制収容所に収監されました。

Stereotypes and Discrimination (USA)

既成概念と差別に対して抗議した人として知られているのがフレッド・コレマツです。彼は行政命令に逆らい逮捕され、アメリカの最高裁判所に訴訟をおこしたことで知られています。コレマツは敗訴という結果に終わりましたが、彼の勇気ある行動は歴史に記されています。

Stereotypes and Discrimination (USA)

またJACLいわれる日系アメリカ人市民同盟はアジア系アメリカ人のため公民権と人権を確保し保護する団体で、日系アメリカ人のコミュニティの継続を保つための団体でもあり、疎外される人たちを擁護しています。

Stereotypes and Discrimination (USA)

JACLはさらに異人種間結婚禁止の法律の無効を強く支持しました。つまり日系アメリカ人と白人の結婚は禁止されていましたが、この裁判で勝利することにより、異人種間の結婚が可能になったということです。

Stereotypes and Discrimination (USA)

また。1998年の市民自由法によって、アメリカの政府は第二次世界大戦中に収監した日系アメリカ人に一人につき2万ドルを支払い日系アメリカ人を差別扱いしたことを謝罪しました。JACLはこの市民自由法を勝ち取るために力を注ぎました。

Japanese-American Population (USA)

これは日系アメリカ人の人口統計を示したものです。アメリカでは5.7%がアジア系アメリカ人で、アジア系日本人の中では6番目に位置しています。

Japanese-American Population (USA)

これは各州ごとの日系アメリカ人の人口統計を表したものです。濃い赤の州が日系アメリカ人の多い州で、カリフォルニア州、ハワイ州、ニューヨーク州とワシントン州に日系アメリカ人が多いことがわかります。

Migration and Assimilation (Japan)

次に、日系アメリカ人がどのように日本社会に同化していくかについて話します。いかに日本語を流暢に話すか、日本の文化を知っているかには関係なく日系アメリカ人は他の日系人より日本社会に受け入れられやすいです。また日本にいる日系アメリカ人は、自分のアメリカ人らしいところが美点だと思っています。

Migration and Assimilation (Japan)

日本滞在の住んでいる日系アメリカ人は留学や英語教師等の事務な仕事をしています。

Stereotypes and Discrimination (Japan)

一方、日系アメリカ人は日本ではいじめにあうこともあります。それは日本語がよくできなかつたり、日本の文化をあまり知らないという点からおこるようです。また日本では白人の方が英語の先生として雇われやすいです。

Japanese-American Population (Japan)

この14年間で日本での日系アメリカ人の人口は増加しています。

The Image of Japanese-Americans

アメリカでの日系アメリカ人のイメージは丁寧で働き者で単一民族ですが、日本ではきれいでバイリンガルでハーフというイメージです。

Culture Values and Characteristics

日本とアメリカでは文化の価値観に違いがあります。日本の特徴にあげられるのは、受けた恩を大切に思う、義務を果たすことを大切にする、名誉を重んじる、他人への依存度が高い等があげられています。一方、アメリカでは個人主義、平等、自己主義等の特徴があげられます。

Culture Values and Characteristics

更に、ケンディス、マトバーアドラーによると日系アメリカ人に受け継がれている日本文化の価値観と特徴としてあげられるのが「我慢、頑張れ、遠慮」で、この価値観が日系アメリカ人のアイデンティティと繋がりモデル・マイノリティの始まりになっているのではないかと伺われます。

Culture Values and Characteristics

我慢、頑張れ、遠慮が良い労働理論、礼儀、規則順守等を重んじることに繋がっています。

National Identity VS Ethnic Identity

次に日系アメリカ人にとっては国民的アイデンティティと民族的アイデンティティの両方のアイデンティティが大切になります。国民的アイデンティティとしてはアメリカという国の一人という意識から自民族中心主義的な見解を保持するがそれと共に、日系という民族グループに属しているという意識が彼らのふるまい、態度、価値観に影響し、その価値観が同化過程において大切な要因になります。

National Identity VS Ethnic Identity

アメリカ人に対する人の認識としては白人、キリスト教徒、英語を話せる、アメリカ生まれがあげられます。一方、日本人への認識には単一民族、礼儀正しい、物静か、尊敬の念等があります。

Japanese-American Identity

さて、日系アメリカ人のアイデンティティに影響する三つの要素には1 容姿、2 世代にわたる日本の隔たり、と3 日本語や日本文化に関する知識の有無があげられます。

Japanese-American Identity

2つの文化を持つ人はアイデンティティー・クライシスを経験することが多々あります。それはつまりどちらの文化に属しているのかわからず、混乱すると共にどちらの国の文化からも孤立しているように見え自己喪失感を覚えることです。

Japanese-American Identity

ではスー&スーはアジア系アメリカ人のアイデンティティをこの三つに分類しています。一つは伝統主義者でアジアの国のみに価値を見出している人、二つ目はマージナル・マンで西洋の国のみに価値を見出す人、三つ目はアジア系アメリカ人で両国の価値観を身につけている人です。

Research Method

では、ここで私達が行った研究の結果について話します。まず、研究方法ですが、アメリカの大学生32名、日本の大学生30名に日本語と英語でアンケート調査をオンラインで行いました。

Japanese-Americans Study Participants

また、62名の中で、日米大学生の中で日系アメリカ人だ答えたのが10名、3名が「ハーフ」だと答えました。

Research Findings: Research Question 1

それでは、ここで研究質問1の結果をについてお話します。

Stereotypes

ここに掲げてある日系アメリカ人を表現に対して正しいと思うか思わないかを聞いたところアメリカの学生は日系アメリカ人は働き者、学問的に優れている、キャリアで成功していると思っているが日本人はどちらでもないを選んだ人が多かったです。

Stereotypes & Discrimination

次にこの4つの項目について聞いたところ半数以上のアメリカの学生は、日系アメリカ人は他のアメリカ人より礼儀正しいと考えていますが、日本の学生はどの項目もあてはまらないと思っていることがわかりました。

Culture

日系アメリカ人はどちらの国の文化ことをよく知り、絆が深いのでしょうか。この図からも分かるように両国の学生共に日系アメリカ人は両国の文化を誇りに思うべきだと考えていました。また、日本の学生の方が日系アメリカ人は日本とアメリカの両方の国の文化に強い絆があるという事が重要だと見ていることがわかります。

Language

両国の学生とも日系アメリカ人は日本語と英語を流暢に話すことを重要だとは思っていません。しかし、日本の学生の方がアメリカの学生より日系アメリカ人は英語を流暢に話せるべきだと思っています。

Identity

日系アメリカ人の持つべきアイデンティティに関しては、アメリカの学生は自分のアイデンティティはアメリカ人だと認識することに対して過半数が重要ではないと答えています。両国の学生は日系アメリカ人は自分のアイデンティティはアメリカ人として認識していることが非常に重要。また自分のアイデンティティを日系アメリカ人として認識している人はアメリカで生まれた人だけとは考えていないようです。

**Please write 3 words that you think best describe
Japanese-American people**

日系アメリカ人のことをよく表現するワードクラウドをみてください。アメリカの大学生に多く書かれたのが「多様」、「優しい」、「働き者」で、日本人の大学生の場合は「わからない」、「第二次世界大戦」、「ハワイ」でした。このことから日本の学生は日系アメリカ人についてよく知らないということが伺われます。

RQ 1: Findings Summary

ここで研究結果 1 をまとめたいと思います。両国の学生は、日系アメリカ人は日本とアメリカのどちらの国の文化も誇りに思うべきだと思っていることがわかりました。また、アイデンティティに関しては個人が自由に選べるべきだという見解を持っています。さらに、日本の学生は、日系アメリカ人は日本とアメリカの文化に強い絆を持っていることが大切だとしいますが、アメリカの学生はあまり重要だとは思っていないこともわかりました。おもしろかったのはワードクラウドに現れた日系アメリカ人への認識です。アメリカの大学生は日系アメリカ人に対して肯定的なイメージを持っています。しかし日本の学生は日系アメリカ人のことをよく知らず、アメリカと日本の戦争に巻き込まれた日系アメリカ人の知識と繋がっているのではないかと思いました。

Research Findings: Research Question 2

次は研究質問2の結果を説明します。

If you know any Japanese-Americans, what is your relationship with them?

日系アメリカ人の知りあいがいる場合、その人（たち）とはどんな関係ですか。という質問に対してアメリカの大学生、全員が日系アメリカ人の知り合いがいると答えましたが、日本の大学生は「いない」と答えました。つまり日本にはあまり日系アメリカ人と接する機会がないということです。

Have you attended a class that included learning about Japanese-American history, issues, or identity?

次は日系アメリカ人の歴史、問題やアイデンティティに関する授業に関してはアメリカのほとんどの学生は授業を受けたことがあるのに対し、日本の学生は学校で学ぶことがないようです。

If you have taken a class that included learning about Japanese-Americans, when did you take it?

また日系アメリカ人に関する授業はアメリカの学生は高校や大学で学びますが日本の学生は学ぶ機会はないということもわかりました。

Were you raised in ethnically diverse community?

また、アメリカとはことなり、大多数の日本の大学生は民族的多様性がある地域社会で育っていないと

答えています。

Were you raised around Japanese-Americans?

ほとんどの日本の大学生は育った地域には日系アメリカ人が住んでいなかったと答えましたが、7割のアメリカの大学生は日系アメリカ人が住んでいたと答えています。

What things do you think have influenced your views on Japanese-Americans?

では日系アメリカ人へのイメージはどのような要因が影響するかですが、両国の学生は知っている人、出会った人から形成されていることがわかります。有名人からの影響はあまりないこともわかりました。

What things do you think have influenced your views on Japanese-Americans?

さらに両国の大学生は、日本やアジアの国の文化に関して持っている知識が影響していると答えています。また、日本の大学生の方がテレビや映画での日系アメリカ人の描写から影響を受けていることがわかりました。

RQ 2: Findings Summary

ここで研究質問2の結果をまとめたいと思います。両国の大学生の日系アメリカ人への見解は知っている日系アメリカ人から形成され、また持っている日本の文化からも影響されています。アメリカには身近に日系アメリカ人がいるため彼らから学ぶ機会も多く、学校でも日系アメリカ人の歴史等から学びます。しかし、日本の学生は日系アメリカ人に会うことも彼らの歴史を学ぶ機会もありません。そのため、日本の学生の知識、イメージはメディア（テレビのドラマや映画等）から影響されているようです。

Conclusion and Discussion

それでは結論と考察です。アメリカの大学生は日系アメリカ人に対しての偏見は少ないと言えます。また日系アメリカ人に対する「既成概念」や「差別問題」に関する知識も多いようです。それは日系アメリカ人の歴史について学校で学んだり身近に日系アメリカ人がいるからです。つまり、アメリカは多文化社会であり異文化理解は大切だという認識や教育もされています。しかし、日本の学生は日系アメリカ人の歴史は知っているものの、日系アメリカ人と接する機会もなく、あまり日系アメリカ人については知りません。ですから日本の大学生は一世日系アメリカ人の経験に集中しがちです。もっと多文化に触れる色々な機会をつくり、交流を深め、日系人の多様性を理解してもらいたいと思います。

Limitations of the Study

最後に研究の限界点について話します。この調査の回答者はアメリカの大学生の回答者の大部分はカリフォルニアの出身です。カリフォルニア州には日系アメリカ人が多いです。そのため、この研究結果は一般化できません。

Future Studies

将来の研究課題としては日系アメリカ人に限らず日系メキシコ人や日系韓国人等あらゆる日系人に関するアイデンティティーを追及したいと思います。

Bibliography

こちらが参考文献です。

Acknowledgements

最後に、ご指導くださった先生方と支えてくれた家族や友達に感謝をいたします。

Thank you very much!

ご清聴ありがとうございました。